

#### (4) サービス業の処理

役務の提供(サービス業)によって得た収益を「役務収益」、そのための原価を「役務原価」と処理する。

収益計上前の役務収益は「前受金」で処理する。収益計上前の役務原価は「仕掛品」で処理する。

「仕掛品」:「作り途中のサービス原価」というイメージ(例:塾経営におけるテキスト代、旅行業における航空チケット代など)

「役務」:サービス(技術や知識)を売る商売(例:塾経営、運送業、旅行代理店、建築設計事務所、クリーニング業、清掃業など)

「契約負債」「前受金」:収益を計上する前に対価を受け取った場合の負債

#### ・(役務収益、役務原価)

1(1) 当社はクリーニング業を営んでおり、顧客から依頼された作業着 50 着のクリーニングを完了した。代価 150,000 円の支払いは来月に受ける。

(2) クリーニングに必要な洗剤 10 kg (20,000 円) を購入した。支払は来月に行う。

2(1) 塾を経営している当社は、来月開講予定の講座(受講期間は 1 年間)の受講料 1,000 円を現金で受け取った。

(2) 来月開講予定の講座(受講期間 1 年間)の教材作成費用 300 円を現金で支払った。

(3) 決算時点で、上記の講座が 60% 終了していた。決算整理仕訳を行う。

(4) 上記講座がすべて終了した。

(150 回) 顧客に対するサービス提供が完了したため、契約額 ¥300,000 (支払いは翌月末) を収益に計上した。これにともない、それまでに仕掛品に計上されていた諸費用 ¥150,000 と追加で発生した外注費 ¥70,000 (支払いは翌月 25 日) との合計額を原価に計上した。

(145 回 1 問) 建築物の設計・監理を請け負っている株式会社熊本設計事務所は、給料 ¥700,000 および出張旅費 ¥180,000 を過日現金にて支払い、記帳もすでに行っていたが、そのうち給料 ¥200,000 および出張旅費 ¥45,000 が特定の案件のために直接費やされたものであることが明らかになったので、これらを仕掛品勘定に振り替えた。

【解答】

・(役務収益、役務原価)

1(1) 当社はクリーニング業を営んでおり、顧客から依頼された作業着 50 着のクリーニングを完了した。代価 150,000 円の支払いは来月に受ける。

売掛金 150,000 / 役務収益 150,000

(1) クリーニングに必要な洗剤 10 kg (20,000 円) を購入した。支払は来月に行う。

役務原価 20,000 / 買掛金 20,000

2(1) 塾を経営している当社は、来月開講予定の講座(受講期間は 1 年間)の受講料 1,000 円を現金で受け取った。

(2) 来月開講予定の講座(受講期間 1 年間)の教材作成費用 300 円を現金で支払った。

(3) 決算時点で、上記の講座が 60% 終了していた。決算整理仕訳を行う。

(4) 上記講座がすべて終了した。

(1) 現金 1,000 / 前受金(又は契約負債) 1,000

(2) 仕掛品 300 / 現金 300

(3) 前受金 600 / 役務収益 600

役務原価 180 / 仕掛品 180

(4) 前受金 400 / 役務収益 400

役務原価 120 / 仕掛品 120

(150 回) 顧客に対するサービス提供が完了したため、契約額 ¥300,000 (支払いは翌月末) を収益に計上した。これにともない、それまでに仕掛品に計上されていた諸費用 ¥150,000 と追加で発生した外注費 ¥70,000 (支払いは翌月 25 日) との合計額を原価に計上した。

売掛金 300,000 / 役務収益 300,000

役務原価 220,000 / 仕掛品 150,000

買掛金 70,000

(145 回 1 問) 建築物の設計・監理を請け負っている株式会社熊本設計事務所は、給料 ¥700,000 および出張旅費 ¥180,000 を過日現金にて支払い、記帳もすでに行っていたが、そのうち給料 ¥200,000 および出張旅費 ¥45,000 が特定の案件のために直接費やされたものであることが明らかになったので、これらを仕掛品勘定に振り替えた。

仕掛品 245,000 / 給料 200,000

旅費交通費 45,000